

にかほ市の地域包括ケアシステム関連事業 令和5年度事業チェックシート

目指す姿	地域包括支援センターで行っている事業	R5年度の実施状況		比較	R6年度に向けての評価
＜大目標＞ 高齢者が 元気なまち (にかほ市高齢者支援計画より)	医療と介護のスムーズな連携のために 「在宅医療・介護連携推進事業」 ○医療・介護関係者のネットワーク構築のための会議の開催 ○多職種による連携やネットワークを目的とした研修会の開催 ○在宅医療・介護連携をみんなに知ってもらうための普及活動	○多職種による連携やネットワークを目的とした研修会の開催 「在宅生活における服薬支援」の講話とグループワーク	例年 並み		R5年度は研修会やネットワーク会議を例年並みに実施しました。 看取りに関する講演会を新しく実施し、大変好評でした。 R6年度は看取り（終活）の出前講座を強化します。
↓ にかほ市の地域包括ケア システムの目指す姿 住み慣れた地域でいつまでも元気に生きがいを持ちながら、人生の最期まで暮し続けることができる	多様なサービスで一人ひとりに合った介護予防のために 「介護予防・生活支援サービス事業」 ○総合事業訪問介護サービス(従来のヘルパー) ○専門職の訪問による介護予防の指導 ○総合事業通所介護サービス(従来のデイサービス) ○デイサービスを緩和したミニデイサービス ○専門職による通所型の介護予防の指導	○専門職の訪問による介護予防の指導 運動機能向上、低栄養改善、うつ予防の訪問を実施	昨年より参加 者が多い		R5年度は専門職による訪問指導、ミニデイサービスの参加者が昨年に比べ多く実施できました。通所型の介護予防教室の参加者がやや少なく、R6年度はPRを強化します。また、ミニデイサービスはR6年度に一般介護予防で実施し、参加できる対象を拡充します。専門職の訪問指導も回数を増やし実施します。
	高齢者みんなが人との交流や生きがい・役割を持てる地域のために 「一般介護予防事業」 ○「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行 ○介護予防のための教室や訪問の実施 ○介護予防ボランティアの育成、介護予防ボランティアポイントの実施 ○介護予防の取組、担い手活動へのポイント事業 ○高齢者の通いの場(集落サロン)事業の実施 ○リハビリ専門職の地域への派遣	○「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行 R5・6年度版を発行。R5に全戸配布。 ○介護予防のための教室や訪問の実施 運動機能向上、認知機能低下予防等の教室を開催 ○ボランティアの育成、介護予防ボランティアポイントの実施 ボランティア講座7名参加、ボランティアポイント参加者109人 ○高齢者の通いの場(集落サロン)事業の実施 実施箇所48か所／実施延回数592回／参加実人数903人 ○リハビリ専門職の地域への派遣 実施箇所10か所／実施延回数14回／参加実人数222人	例年 並み 例年 並み 今年度 新規 昨年より実施 箇所数が多い 例年 並み		「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行や介護予防の教室は例年並みに実施できました。「介護予防ボランティア活動ポイント・参加ポイント事業」は新規事業ですが、多くの方に参加して頂きました。R6年度も引き続きPRしていきます。集落サロンは月2回以上の実施に対する委託料枠を増やしたことで、開催数、参加者数全て増加となりました。今後も新規立ち上げを支援します。
↓ そのために…… 医療・介護・介護予防 (健康)・住まい・生活 支援が一体的に継続的に 確保される地域づくり	日常生活上の支援の充実・強化を目指し地域・民間・市の協働で 「生活支援体制整備事業」 ○生活支援体制整備事業協議体「ささえあい創り隊」の開催 ○互助の地域づくりの出前講座「あったかふれあい座談会」の開催 ○高齢者の通いの場情報交換会(担い手支援)の開催	○生活支援体制整備事業協議体「ささえあい創り隊」の開催 開催回数11回／参加延人数184人 ○互助の地域づくりの出前講座「あったかふれあい座談会」の開催 開催回数6回／参加延人数103人 ○高齢者の通いの場情報交換会(担い手支援)の開催	例年 並み 例年 並み		「ささえあい創り隊」で高齢者の居場所の協議を重ね、中学校区毎に新しい居場所の創出につながっています。 また、出前講座を通じて、互助の地域づくりのPRを図ることができました。
	認知症になっても本人の意思が尊重され地域で暮らすために 「認知症総合支援事業」 ○認知症の早期受診のための「認知症初期集中支援チーム」 ○介護専門職等のための「認知症対応力向上研修」 ○認知症の人や地域の人との交流の場「認知症カフェ」の開催	○認知症の早期受診のための「認知症初期集中支援チーム」 利用者実人数 3名 ○介護専門職等のための「認知症対応力向上研修」 参加者数 35名 ○認知症の人や地域の人との交流の場「認知症カフェ」の開催 開催回数12回／参加延人数230人	昨年より使用 者数が多い 例年 並み 昨年より延人 数が多い		認知症の早期受診につなげる「初期集中支援チーム」活動を積極的に実施しました。また、認知症カフェは年々参加人数が増え、地域に浸透しています。 R6年度は認知症タッチパネルを用いた「もの忘れチェックDay」を実施予定。